

全国健康保険協会群馬支部 健康づくり推進協議会 (第19回)

令和5年9月20日(水)

【議題1】

令和4年度保健事業実績および
令和5年度の主な取り組みについて

第2期データヘルス計画の概要

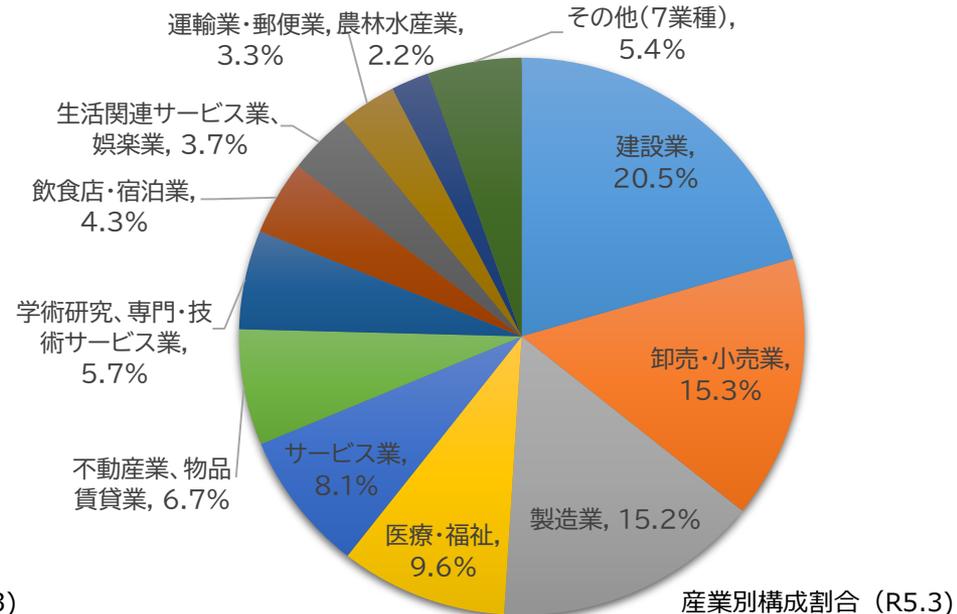
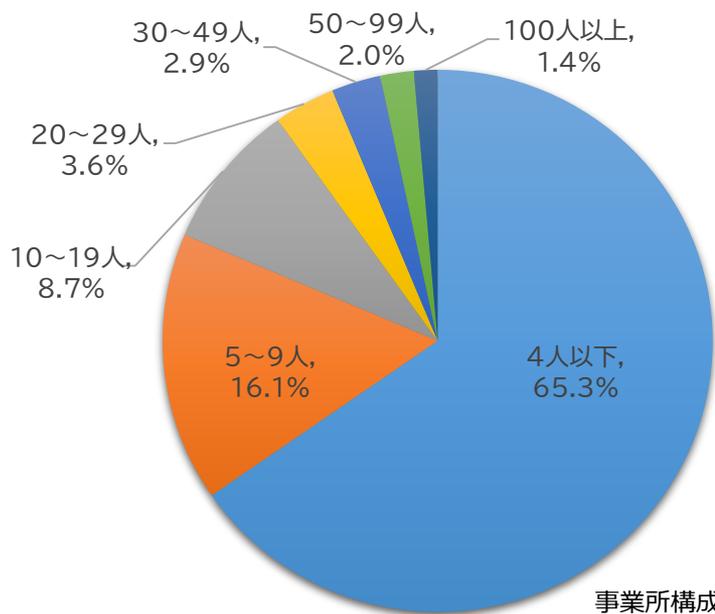
群馬支部の状況

●適用状況

事業所数	37,486事業所
加入者数	618,344人
被保険者数	382,487人(男性:232,672人 女性:149,815人)
被扶養者数	235,857人(男性:84,114人 女性:151,743人)

●構成割合

協会けんぽ月報（総括表）（令和5年3月）



第2期データヘルス計画の概要

データヘルス計画とは

医療保険の保険者が保有するレセプト・健診データなどを分析・活用し、加入者の皆様の健康状態の特性を踏まえた健康づくりや重症化予防などの保健事業を実施していくための事業計画です。

第2期データヘルス計画 ⇒ 平成30年度～令和5年（6年間）の取組み

上位目標

10年以上経過後に達成する目標

重症高血圧の割合（男性1.9%、女性0.7%）を10%低下させ、
男性1.71%、女性0.63%にする

- 重症高血圧とは…拡張期血圧が110/収縮期血圧が180mmHg以上の方

中位目標

6年経過後に達成する目標

H27年度とR3年度の**血圧リスク保有者**の割合を比較し43.7%→41.5%にする

- 血圧リスク保有者とは…拡張期血圧が85/収縮期血圧が130mmHg以上の方（服薬者も含む）

下位目標

受診勧奨、特定保健指導、重症化予防事業、健康経営（コラボヘルス）の推進

第2期データヘルス計画の概要

課題

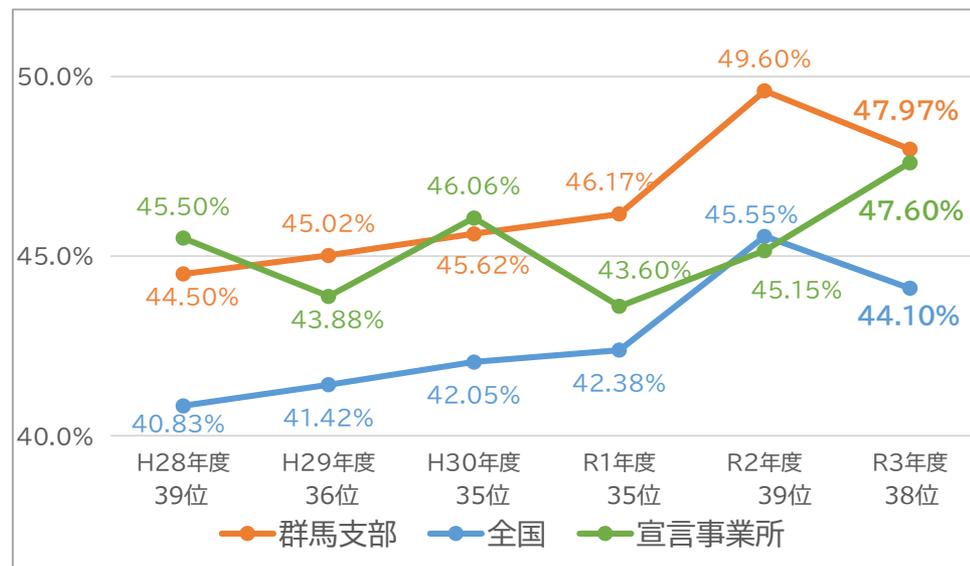
- 血圧リスク保有率が年々増加しており、**健診受診者の約半数近くがリスク保有者**

＜血圧リスク保有の推移＞

血圧リスク保有率	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
群馬支部	44.50%	45.02%	45.62%	46.17%	49.60%	47.97%
順位 ※1	39位	36位	35位	35位	39位	38位
全国	40.83%	41.42%	42.05%	42.38%	45.55%	44.10%
宣言事業所 ※2	45.50%	43.88%	46.06%	43.60%	45.15%	47.60%

※1 全国平均と比較した際の群馬支部の順位

※2 平成27年度までに「生き生き健康事業所宣言」をした54社



背景

- 男女とも脳血管疾患による死亡率が高い
- 幼少期からの肥満傾向が高い県民性がある
- 運動不足（自動車通勤率 全国第3位）、塩分摂取過多（調理弁当購入率 全国1位）、喫煙（習慣的喫煙男性 全国1位）などの生活習慣が重なり、高血圧症になるリスクが高い
- 健診を受けても受診行動につながらず重症化しやすい（未治療者割合〔※〕群馬支部：4.8% 全国：3.9%）

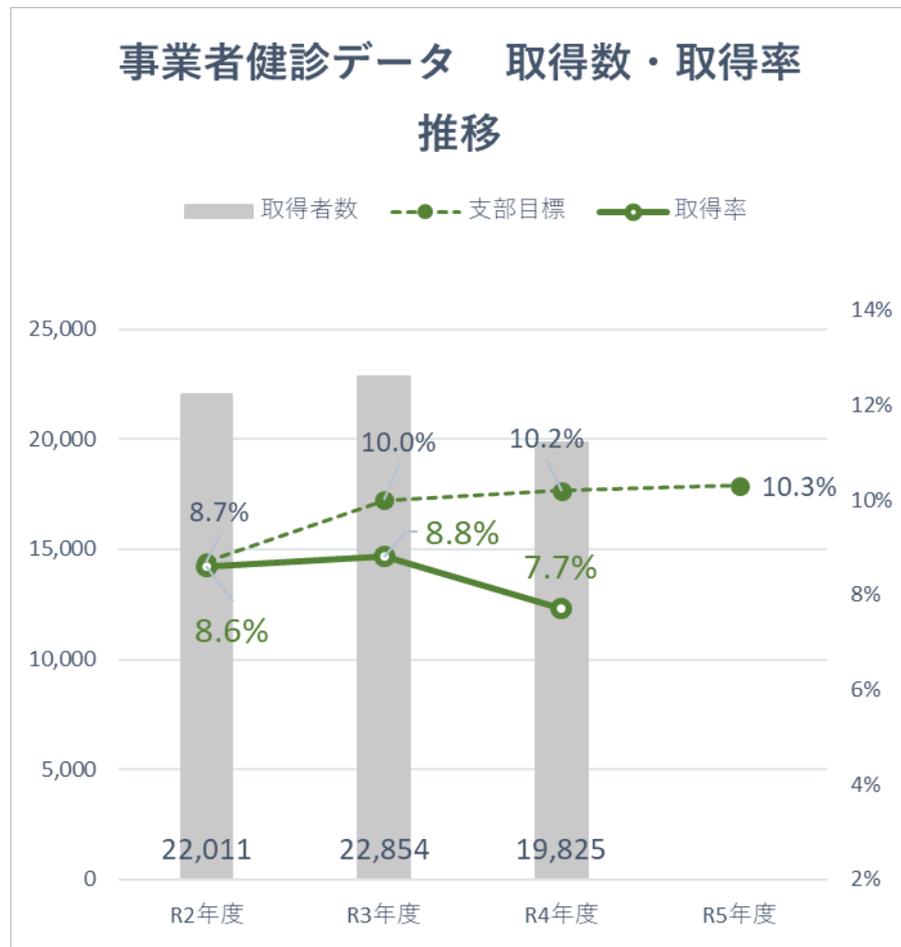
〔※〕生活習慣病予防健診受診者のうち、血圧・血糖についての未治療者の割合

平成30年第2期データヘルス計画策定時資料により

被保険者（本人）

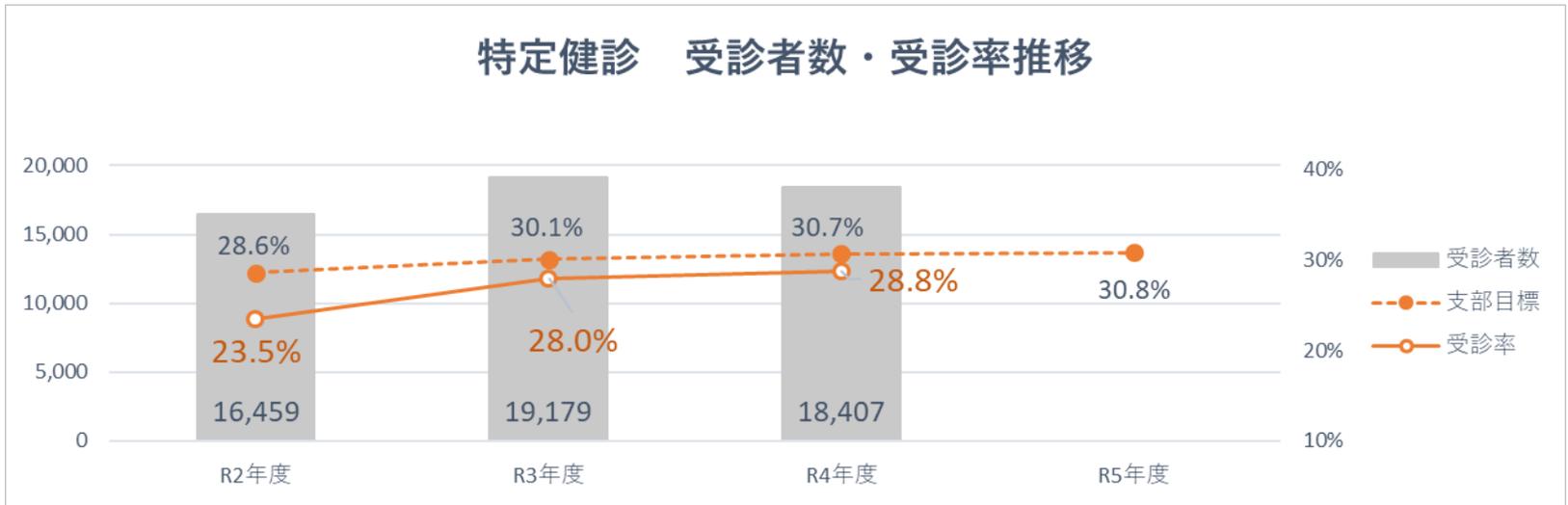
R4年度の計画	主な取り組み	取り組み状況	実績
<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣病予防健診実施率を63.7%とする (受診者数160841人 /対象者数推計 252,498人) 	<ul style="list-style-type: none"> 民間事業者を活用した受診勧奨 制度周知を目的とした広報 	<ul style="list-style-type: none"> 1,200社（中規模以上）に対し、民間事業者による受診案内送付・電話勧奨を実施 4,700社（小規模）に対し、受診案内送付 新規加入事業所へ随時受診案内を送付 	<ul style="list-style-type: none"> 実施率 61.3% 157,368件 (対前年：58.3% (151,445件) 対前年比：+5,923件) (対前々年：55.1% (140,280件) 対前々年比：+11,165件)
<ul style="list-style-type: none"> 事業者健診データ取得率を10.2%とする (受診者数25,754人 /対象者数推計252,498人) 	<ul style="list-style-type: none"> 民間事業者の活用や関係団体と連携した事業者健診データの提供勧奨の実施 データ作成契約機関増の取組の強化 	<ul style="list-style-type: none"> 3,000社に対し、事業者健診データの提供の文書および電話勧奨実施 データ作成未契約の48健診機関に対し、事業者健診データ作成契約可否のアンケート調査を実施。 (R4当初契約機関73→R4末77) 	<ul style="list-style-type: none"> 取得率 7.7% 19,825件 (対前年：8.8% (22,854件) 対前年比：▲3,029件) (対前々年：8.6% (22,011件) 対前々年比：+843件)

被保険者（本人）



被扶養者（家族）

R4年度の計画	主な取り組み	取り組み状況	実績
<ul style="list-style-type: none"> 被扶養者の特定健診受診率を30.7%とする (受診者数21,342人 / 対象者数推計69,519人) 	<ul style="list-style-type: none"> 自治体のがん検診との同時受診に関する受診勧奨の実施 G I Sを活用した受診勧奨の実施 協会主催の集団健診の実施 県外在住者への受診勧奨 事業主名による受診勧奨の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 10市と連携し約36,000人に対し、がん検診と特定健診の同時受診を勧奨する文書を発送（5～7月） 約48,000人を対象に、近隣の健診機関を案内する受診勧奨を実施（2月） 県内35会場で、協会主催集団健診実施（1～3月） 県外在住者約8,000人に対する受診勧奨を実施（12月） 健康宣言事業所の事業主名を明記した受診勧奨チラシの配布（151社参加 / 対象者数約3,300人） 	<ul style="list-style-type: none"> 受診率 28.8% 18,407件 対前年：28.0%（19,179件） 対前年比：▲772件 対前々年：23.5%（16,459件） 対前々年比：+2,720件

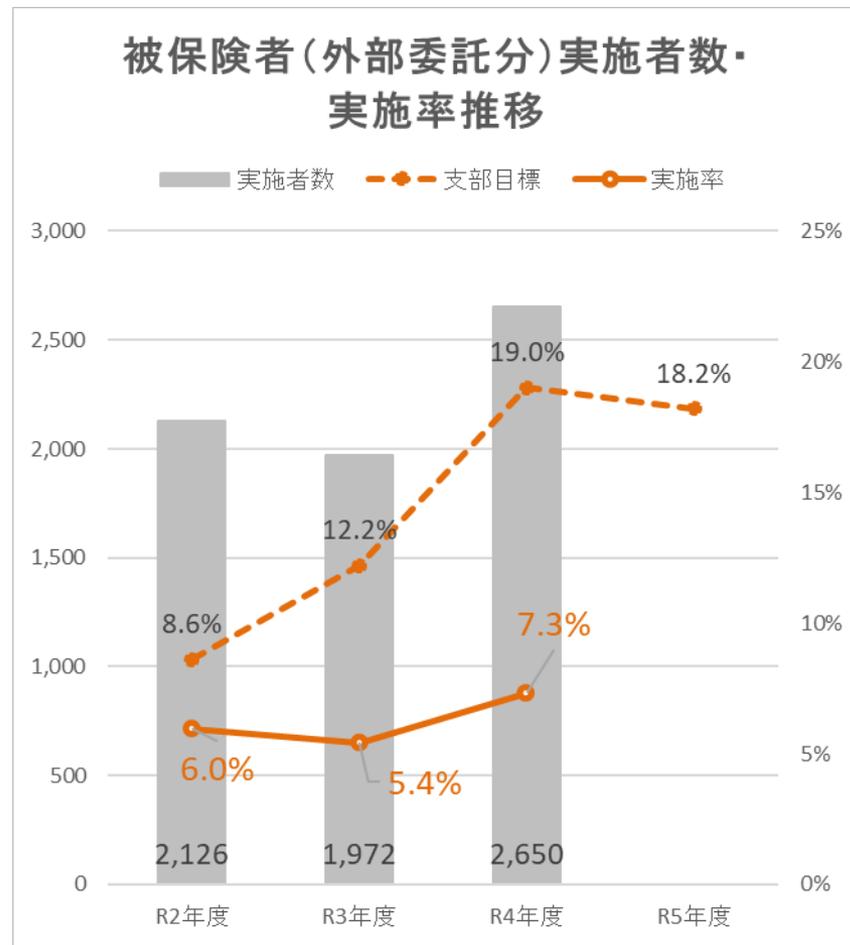
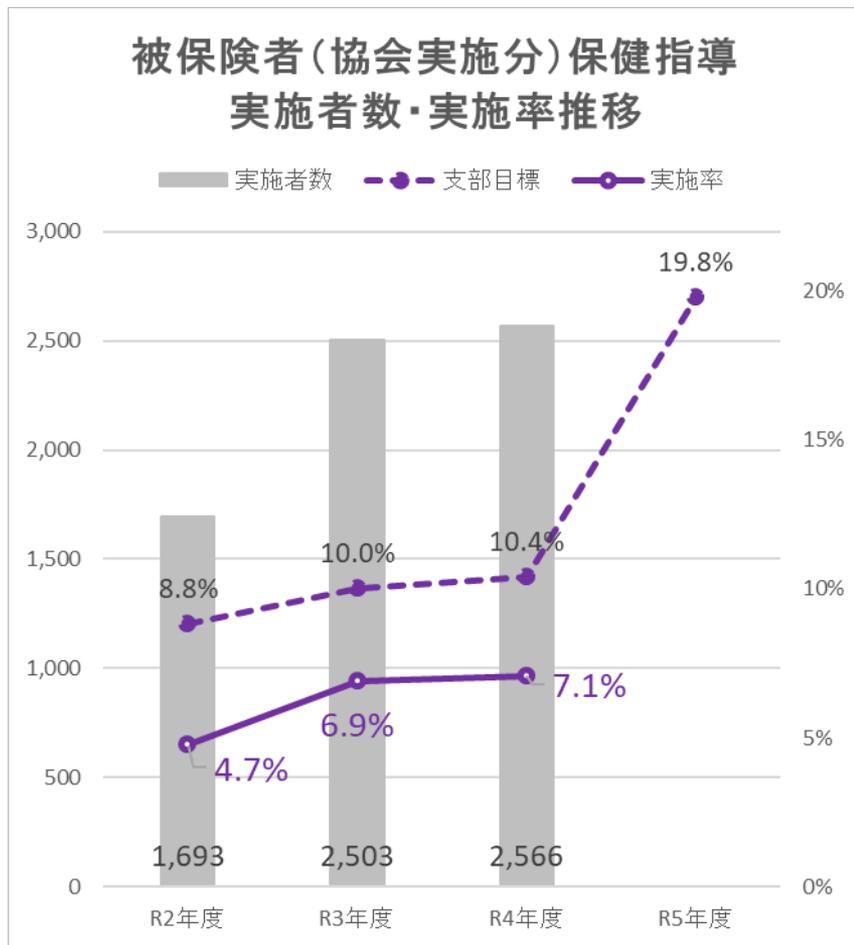


R5年度の計画	主な取り組み内容	実績 (R5.7月末現在)
<ul style="list-style-type: none"> ● 生活習慣病予防健診実施率を66.6%とする (受診者数168,191人 / 対象者数推計252,403人) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 健診機関との連携強化 ● 低受診率事業所（小規模事業所）に対する文書勧奨 ● 低受診率事業所（中規模事業所）に対する民間事業者による電話勧奨 ● 制度周知（自己負担額減額）を目的とした周知広報及び案内の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ● 37,103件（14.7%） 〔前年同期：38,118件(15.1%)〕 対前年同期比：▲1,015件 ※R5.6月末時点
<ul style="list-style-type: none"> ● 事業者健診データ取得率を10.3%とする (受診者数25,998/ 対象者数推計252,403人) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 民間事業者を活用した事業者健診データの提供勧奨の実施 ● データ作成契約機関増の取組の強化 ● 同意書提出済事業所に対する受診先健診機関の再確認 	<ul style="list-style-type: none"> ● 1,545件（0.6%） 〔前年同期：2,408件(1.0%)〕 対前年同期比：▲863件
<ul style="list-style-type: none"> ● 被扶養者の特定健診受診率を30.8%とする (受診者数21,338人 / 対象者数推計69,279人) 	<ul style="list-style-type: none"> ● がん検診との同時受診に関する受診勧奨の実施（5月～7月） ● 健康宣言事業所の事業主名による受診勧奨の実施（9月） ● 県外在住者への受診勧奨の実施（11月予定） ● 受診状況およびGISを活用した受診勧奨の実施（1月頃予定） ● 協会主催の集団健診の実施（1月～3月予定） 	<ul style="list-style-type: none"> ● 4,048件（5.9%） 〔前年同期：4,442件(6.4%)〕 対前年同期比：▲358件

被保険者（本人）

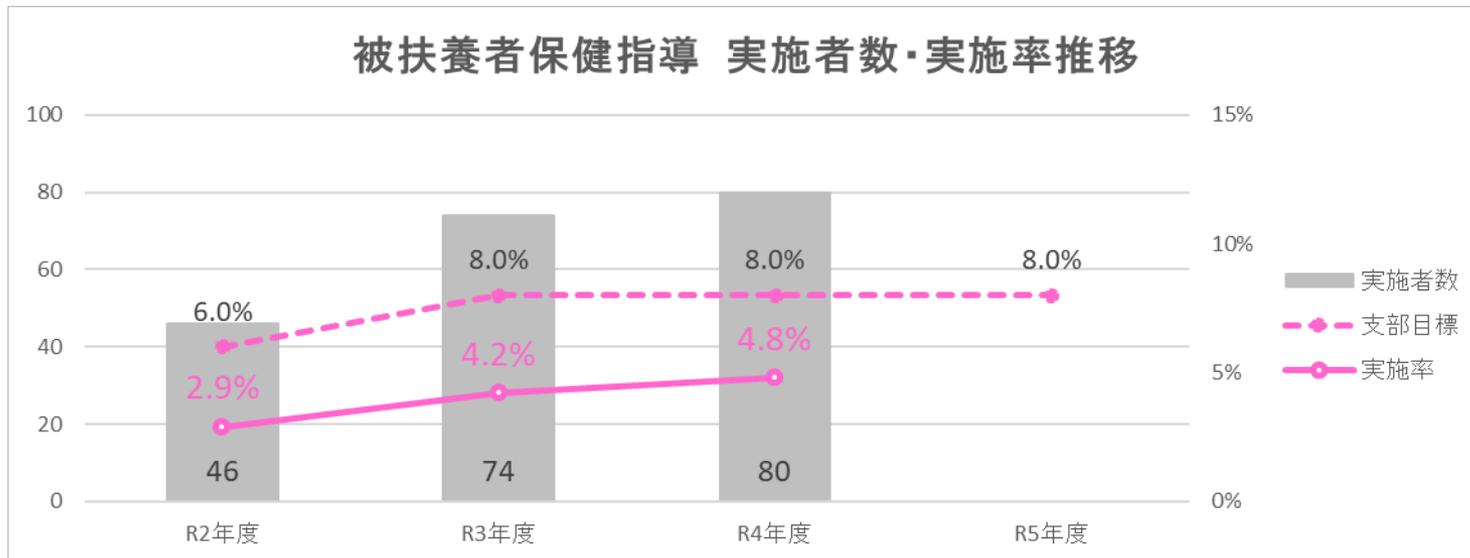
R4年度の計画	主な取り組み	取り組み状況	実績
<ul style="list-style-type: none"> ● 被保険者 特定保健指導（協会実施分） 実施率を10.4%とする (実施者数4,231人 /対象者数推計40,632人) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 事業所に対する効率的な利用勧奨 ● 協会保健師によるICT面談拡大と支部内実施体制の強化 ● 周知広報の強化 ● 特定保健指導市販パンフを活用して利用勧奨 	<ul style="list-style-type: none"> ● 訪問実績リストを活用した保健指導案内及び宣言事業所への優先的な案内 ● ICT面談の拡大のため文書等による利用勧奨強化 (実施件数：112件 前年比：-7件) ● 宣言事業所および大規模事業所を中心とした訪問等による受入要請の実施（106社） ● 特定保健指導PR動画による利用勧奨 ● WEB広告（YouTube等6媒体）、HP掲載 ● 上毛新聞（元気らいふ）、FM群馬 	<ul style="list-style-type: none"> ● 実施率 7.1% 2,566件 〔前年：2,503件(6.9%) 対前年比：+63件〕 〔前々年：1,693件(4.7%) 対前々年比：+810件〕
<ul style="list-style-type: none"> ● 被保険者 特定保健指導（委託分） 実施率を19.0%とする (実施者数7,718人 /対象者数推計40,632人) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 外部委託推進、ICT利用推奨 ● 特定保健指導実施健診機関の目標値に対する進捗管理 ● 協会・委託機関との合同スキルアップ研修や実践者会議等による関係機関との連携強化 ● 保健指導推進経費の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ● 専門機関への委託 <ul style="list-style-type: none"> 訪問型： 4,106件 ICT型： 1,149件 継続支援型： 263件 ● 健診機関との特定保健指導実施契約推進（R3年度より3機関増） ● 合同スキルアップ研修や実践者会議の実施(1月) ● 保健指導推進経費を活用した保健指導契約健診機関での特定保健指導実施強化 	<ul style="list-style-type: none"> ● 実施率 7.3% 2,650件 〔前年： 1,972件 (5.4%) 対前年同期比：+678件〕 〔前々年：2,126件(6.0%) 対前々年比：▲154件〕

被保険者（本人）



被扶養者（家族）

R4年度の計画	主な取り組み	取り組み状況	実績
<ul style="list-style-type: none"> 被扶養者 特定保健指導 実施率を 8.0% とする (実施者数160人 / 対象者数推計2,005人) 	<ul style="list-style-type: none"> 利用券未利用者への案内送付 集団健診当日の保健指導実施 	<ul style="list-style-type: none"> 利用券未利用者への案内送付 (1,001件) (前年 469件) 特定保健指導が実施できない健診機関において、協会保健師による特定保健指導の利用案内 集団健診当日の保健指導実施 (R5.2月、8会場) 被保険者と合わせて特定保健指導の広報強化 	<ul style="list-style-type: none"> 実施率 4.8% 80件 前年：74件 (4.2%) 対前年比：+6件 前々年：46件(2.9%) 対前々年比：+28件



R5年度の計画	主な取り組み内容	実績 (R5.7月末現在)
<ul style="list-style-type: none"> ● 被保険者 特定保健指導 (協会実施分) 実施率を19.8%とする (実施者数8,365人/対象者数推計 42,333人) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 訪問実績リストを活用した保健指導案内及び宣言事業所への優先的な案内 ● 特定保健指導対象者への案内数の増加 ● 健康宣言事業所を中心とした事業所訪問による特保利用勧奨 ● 特定保健指導市販パンフを活用しての利用勧奨 ● ホームページ・健診機関等での映像広告放映 (広報強化) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 811件 (1.9%) 〔前年同期：821件(2.0%) 対前年同期比：-10件〕
<ul style="list-style-type: none"> ● 被保険者 特定保健指導 (委託分) 実施率を18.2%とする (実施者数7,722人 /対象者数推計 42,333人) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 専門機関 (訪問型、ICT型、継続支援型) への委託件数の拡大 ● 特定保健指導実施健診機関の目標値に対する進捗管理 ● 合同スキルアップ研修または実践者会議による関係機関との連携強化 ● 保健指導推進経費を活用した保健指導契約健診機関での特定保健指導実施強化 	<ul style="list-style-type: none"> ● 661件 (1.6%) 〔前年同期：846件(2.1%) 対前年同期比：-185件〕
<ul style="list-style-type: none"> ● 被扶養者 特定保健指導 実施率を 8.0%とする (実施者数159人 / 対象者数推計1,984人) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 利用券未利用者への案内送付 ● 特定保健指導が実施できない健診機関において、協会保健師による特定保健指導の利用案内 ● 集団健診当日の保健指導実施の拡大 ● 被保険者と合わせて特定保健指導の広報強化 	<ul style="list-style-type: none"> ● 43件 (2.2%) 〔前年同期：33件(1.6%) 対前年同期比：+10件〕

R4年度の計画	主な取り組み	取り組み状況	実績
<ul style="list-style-type: none"> ● 受診勧奨後3か月以内に医療機関を受診した者の割合を12.4%以上とする 	<ul style="list-style-type: none"> ● 受診勧奨の強化 ● 受診しやすい環境整備 ● 群馬県糖尿病性腎臓病重症化予防プログラムに基づいた受診勧奨 ● 外部委託による二次勧奨 <ul style="list-style-type: none"> 〔一次勧奨：本部〕 〔二次勧奨：支部・民間業者〕 	<ul style="list-style-type: none"> ● 支部からの勧奨に加え外部委託での勧奨により二次勧奨件数増 ● 回答書提出者（近日中受診予定・受診予定なし）への支部内二次勧奨 ● 未回答者への再勧奨の強化 ● 群馬県糖尿病性腎臓病重症化予防プログラムに基づいた受診勧奨の徹底（504件） ● 医療機関情報提供（専門医リストの配付） 	<ul style="list-style-type: none"> ● 受診率 11.1% 964件 ● 10,984件 （一次勧奨対象者） ● 2,570件 （二次勧奨対象者、再掲）
<ul style="list-style-type: none"> ● 生活習慣病重症化予防策を実施する 	<ul style="list-style-type: none"> ● 重症化予防の保健指導の実施 ● 県医師会等との連携を軸に重症化予防継続支援対象者の主治医等との連携を図る 	<ul style="list-style-type: none"> ● 群馬県糖尿病性腎臓病重症化予防プログラムの保健指導フローに基づいて、生活習慣病の重症化予防のための保健指導を実施する ● 県プログラムに基づいた受診勧奨で得られた連絡票を活用して主治医と連携する 	<ul style="list-style-type: none"> ● 連絡票送付 504件 ● 受診結果連絡票受領 34件 ● 保健指導 7件

R5年度の計画	主な取り組み内容	実績 (R5.6月末現在)
<ul style="list-style-type: none"> ● 受診勧奨後3か月以内に医療機関を受診した者の割合を13.1%以上とする 	<ul style="list-style-type: none"> ● 支部および外部委託による二次勧奨 ● 回答書提出者（近日中受診予定・受診予定なし）、未回答者への支部内二次勧奨 ● 群馬県糖尿病性腎臓病重症化予防プログラムに基づいた受診勧奨の徹底 ● 医療機関情報提供（専門医リストの配付） 	<ul style="list-style-type: none"> ● 受診率 9.8% 198件 〔前年同月期：12.5%〕 234件〕 ● 3,199件 (一次勧奨対象者) ● 1,049件 (二次勧奨対象者、再掲)
<ul style="list-style-type: none"> ● 生活習慣病重症化予防策を実施する 	<ul style="list-style-type: none"> ● 群馬県糖尿病性腎臓病重症化予防プログラムの保健指導フローに則して、生活習慣病の重症化予防のための保健指導を実施する ● 県プログラムに基づいた受診勧奨で得られた連絡票を活用して主治医と連携する 	<ul style="list-style-type: none"> ● 連絡票送付 113件 ● 受診結果連絡票受領 9件 ● 保健指導 2件

R4年度の計画	主な取り組み内容	取り組み状況	実績
<ul style="list-style-type: none"> 健康事業所宣言事業所を1,400社以上とする 	<ul style="list-style-type: none"> 健康経営促進を目的とした関係団体との連携を強化・拡大する。 外部委託業者を活用した勧奨を実施する。 健康経営セミナー等を開催し、健康経営を普及促進する。 	<ul style="list-style-type: none"> 前橋ウエルネス企業と生き生き健康事業所宣言の相互認定を継続中。 外部委託業者より、電話による宣言事業所エントリー勧奨を実施。（9月2,000社） 事業所カルテを同封した文書勧奨。（2月1,006社） 健康経営セミナーにて講演。（2月） 事業所における健康づくりの取組の質を担保するため健康宣言のベースプランをコンテンツ（健診受診率及び特定保健指導実施率の目標設定の必須化）の標準化に沿った内容に変更（4月） 	<ul style="list-style-type: none"> 1,331社 <p>参考：令和4年3月末時点 1,184社</p>
<ul style="list-style-type: none"> 健康事業所宣言事業所に対するポピュレーションアプローチを行う 	<ul style="list-style-type: none"> アンケート及び事業所カルテを送付し、その結果に応じたフォローアップを行う。 取り組み事例集を作成し、健康経営の取り組みを促進する。 優秀な取り組みをしている事業所の表彰を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> アンケートによる取り組み状況確認。（4月） 取り組み状況から、優秀な3社を表彰。（12月：株式会社ボルテックスセイグン、社会福祉法人にしあがつま福祉会、中嶋塗装工事株式会社） 事業所カルテ送付（2月402社） 事業所の規模、健診受診、保健指導実施状況等を踏まえ、訪問等によるフォローを実施。（106社） 宣言事業所から17社をピックアップし、取り組み事例を取材のうえ、事例集を作成。（2月） 	<ul style="list-style-type: none"> アンケート送付 4/21発送 573事業所 回答率81.0%（464事業所） 別途前橋市対応分 169事業所（152事業所） 健康セミナー 15社444名 活動量計貸出 4社40名

R5年度の計画	主な取り組み内容	実績 (R5.7月末現在)
<ul style="list-style-type: none"> 健康事業所宣言事業所を1,200社以上とする ※標準化された健康宣言の事業所数及び今後標準化された健康宣言への更新が見込まれる事業所数 	<ul style="list-style-type: none"> 宣言済事業所について、事業所における健康づくりの取組の質を担保するためコンテンツ（健診受診率及び特定保健指導実施率の目標設定の必須化）の標準化に着手する。 健康経営促進を目的とした関係団体との連携を強化する。 外部委託業者を活用した勧奨を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 1,352社 (標準化768社) <p>参考：令和5年3月末時点 1,331社</p>
<ul style="list-style-type: none"> 健康事業所宣言事業所に対するポピュレーションアプローチを行う 	<ul style="list-style-type: none"> アンケート及び事業所カルテを送付し、その結果に応じたフォローアップを行う。 取り組み事例集を作成し、健康経営の取り組みを促進する。 優秀な取り組みをしている事業所の表彰を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> アンケート送付 4/11発送 1,175事業所 回答率72.5% (852事業所) <ul style="list-style-type: none"> 健康セミナー 23社525名 活動量計貸出 11社129名

ベースプランの変更内容

変更後は、健康ベースプランに数値目標を設定しました

変更後

- 健康診断の実施について
被保険者（35歳以上）の健康診断受診率を 100%とします。
被扶養者（40歳以上）の健康診断受診率を 50%以上とします。
- 保健指導の実施について
被保険者の特定保健指導の実施率を 35%以上とします。

変更前

- 健康診断の実施について
法令に従い、社員に対して「定期健康診断」を実施します。
また、扶養家族の特定健診の推奨をします。
- 保健指導の実施について
協会けんぽのメタボに着目した「特定保健指導」を利用します。

【議題2】 群馬支部のデータ分析について

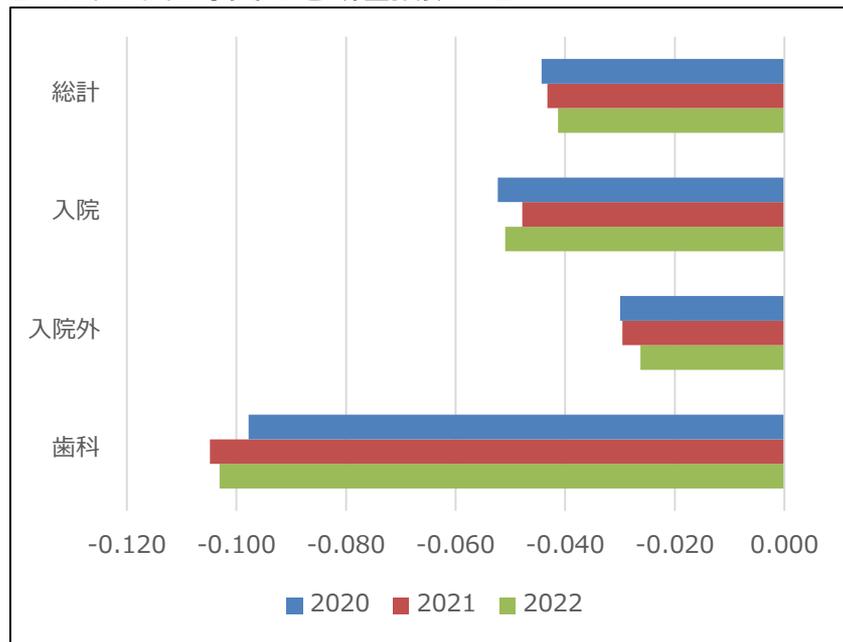
群馬支部の適用情報・医療費情報について

1.適用状況

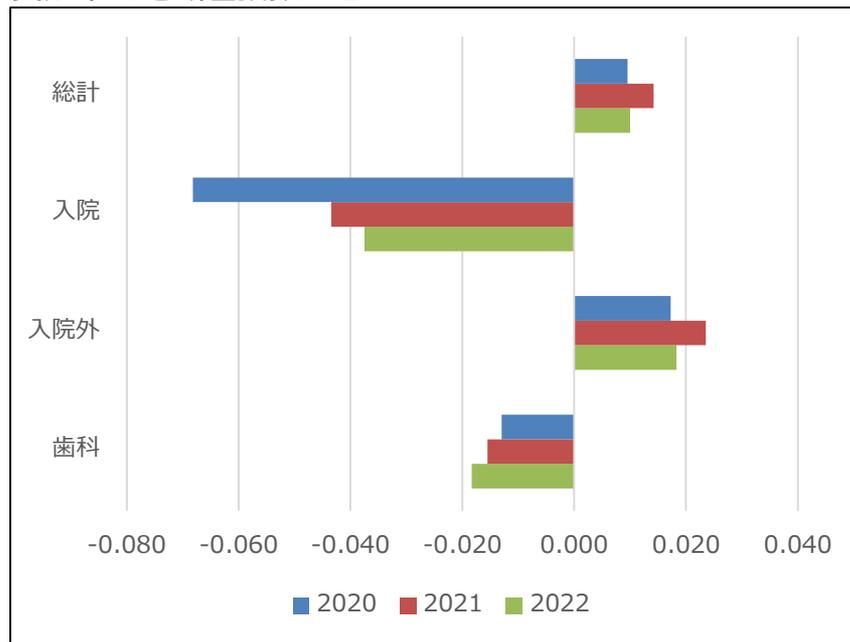
年度	事業所数（事業所）	加入者数（人）	被保険者数（人）	被扶養者数（人）	平均標準報酬月額（円）
2020	35,532	632,924	383,396	249,528	290,906
2021	36,743	630,482	385,378	245,104	296,487
2022	37,486	618,344	382,487	235,857	302,650

2.医療費状況

1人当たり医療費の地域差指数－1



受診率の地域差指数－1



(※) 地域差指数－1とは、医療費等の地域差を表す指標として、1人当たり医療費等について、年齢調整し、全国平均を0として指数化したものであり、0より大きい数値であれば、全国平均より高い水準にあり、0より小さい数値であれば、全国平均より低い水準にあることを示しています。

群馬支部の医療費情報について

2.医療費状況

総計（入院・入院外・歯科）

年度	1人当たり医療費	1人当たり医療費_年齢調整後	受診率	受診率_年齢調整後	1件当たり日数	1日当たり医療費
2020	167,309	166,509	7,422.6	7,404.6	1.55	14,503
2021	181,113	180,285	8,012.8	7,994.4	1.52	14,845
2022	194,076	193,523	8,487.5	8,473.1	1.5	15,275

入院

年度	1人当たり医療費	1人当たり医療費_年齢調整後	受診率	受診率_年齢調整後	1件当たり日数	1日当たり医療費
2020	46,868	46,606	85.33	85.25	9.91	55,396
2021	50,055	49,770	89.72	89.66	9.67	57,720
2022	50,888	50,737	88.97	89.09	9.57	59,754

入院外

年度	1人当たり医療費	1人当たり医療費_年齢調整後	受診率	受診率_年齢調整後	1件当たり日数	1日当たり医療費
2020	101,765	101,257	5,747.5	5,732.8	1.39	12,768
2021	111,637	111,137	6,228.9	6,214.3	1.38	13,034
2022	123,142	122,786	6,664.1	6,653.6	1.36	13,539

歯科

年度	1人当たり医療費	1人当たり医療費_年齢調整後	受診率	受診率_年齢調整後	1件当たり日数	1日当たり医療費
2020	18,676	18,646	1,589.76	1,586.54	1.71	6,867
2021	19,420	19,378	1,694.16	1,690.46	1.63	7,015
2022	20,046	20,001	1,734.43	1,730.40	1.59	7,267

※ 群馬支部加入者のレセプトデータより集計

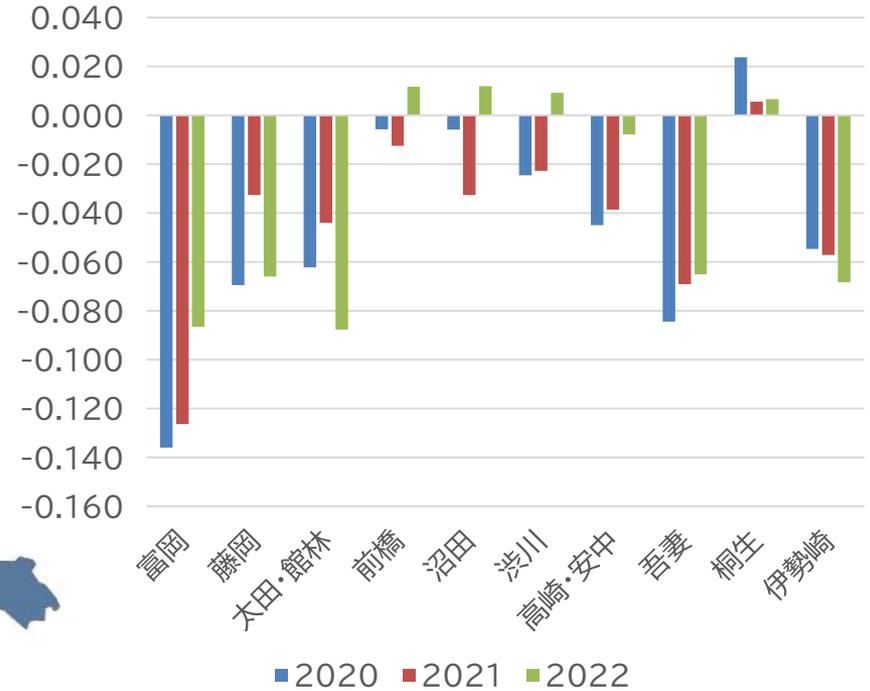
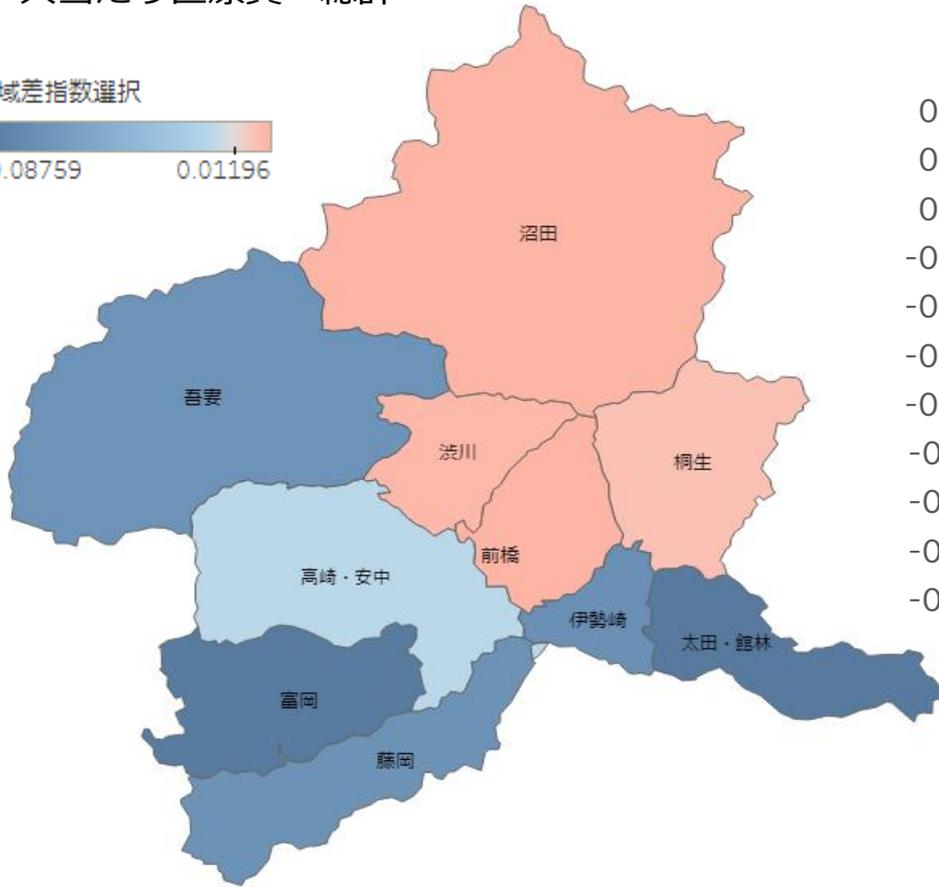
※ 受診率は1000人当たりのレセプト件数

※ 単位は、1人当たり医療費（円）、受診率（件）、1件当たり日数（日）、1日当たり医療費（円）

※ 調剤に係る医療費については、処方元である入院外・歯科に含めている

二次医療圏別・市区町村別地域差（2022） 一人当たり医療費 総計

地域差指数選択



地域差指数	富岡	藤岡	太田・館林	前橋	沼田	渋川	高崎・安中	吾妻	桐生	伊勢崎
2020	-0.136	-0.069	-0.062	-0.006	-0.006	-0.024	-0.045	-0.084	0.024	-0.055
2021	-0.126	-0.033	-0.044	-0.012	-0.033	-0.023	-0.039	-0.069	0.006	-0.057
2022	-0.086	-0.066	-0.088	0.012	0.012	0.009	-0.008	-0.065	0.007	-0.068

群馬支部の健診情報について

健診受診率等

年度	生活習慣病予防健診受診率	事業者健診データ取得率	特定健診受診率	特定保健指導実施率	勧奨後3月以内受診率	コラボヘルス宣言事業所数
2020	55.1%	8.6%	23.5%	10.3%	9.8%	749
2021	58.3%	8.8%	28.0%	12.3%	9.2%	1,184
2022	61.3%	7.7%	28.8%	14.4%	11.1%	1,331

健診結果及び問診結果

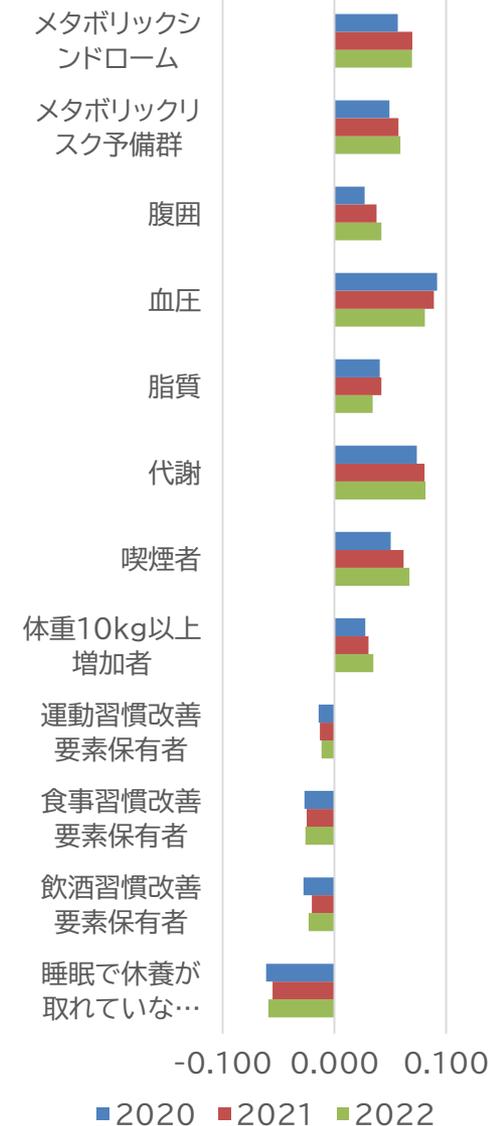
※1 生活習慣病予防健診及び事業者健診の健診結果及び問診結果を集計対象としている。
 ※2 地域差指数は年齢調整後のものである。

年度	メタボリックシンドロームのリスク保有率		メタボリックリスク予備群の割合		腹囲のリスク保有率		血圧のリスク保有率	
	地域差指数-1	地域差指数-1	地域差指数-1	地域差指数-1	地域差指数-1	地域差指数-1	地域差指数-1	地域差指数-1
2020	16.6%	0.057	13.5%	0.049	36.4%	0.027	49.6%	0.092
2021	16.7%	0.070	13.5%	0.057	36.5%	0.038	49.5%	0.089
2022	16.9%	0.069	13.4%	0.059	36.6%	0.042	49.7%	0.081

年度	脂質のリスク保有率		代謝のリスク保有率		喫煙者の割合		体重10kg以上増加者の割合	
	地域差指数-1	地域差指数-1	地域差指数-1	地域差指数-1	地域差指数-1	地域差指数-1	地域差指数-1	地域差指数-1
2020	29.9%	0.041	16.6%	0.074	30.1%	0.050	42.1%	0.028
2021	29.7%	0.042	16.7%	0.081	29.6%	0.062	42.3%	0.031
2022	29.7%	0.034	17.0%	0.081	29.7%	0.067	42.5%	0.035

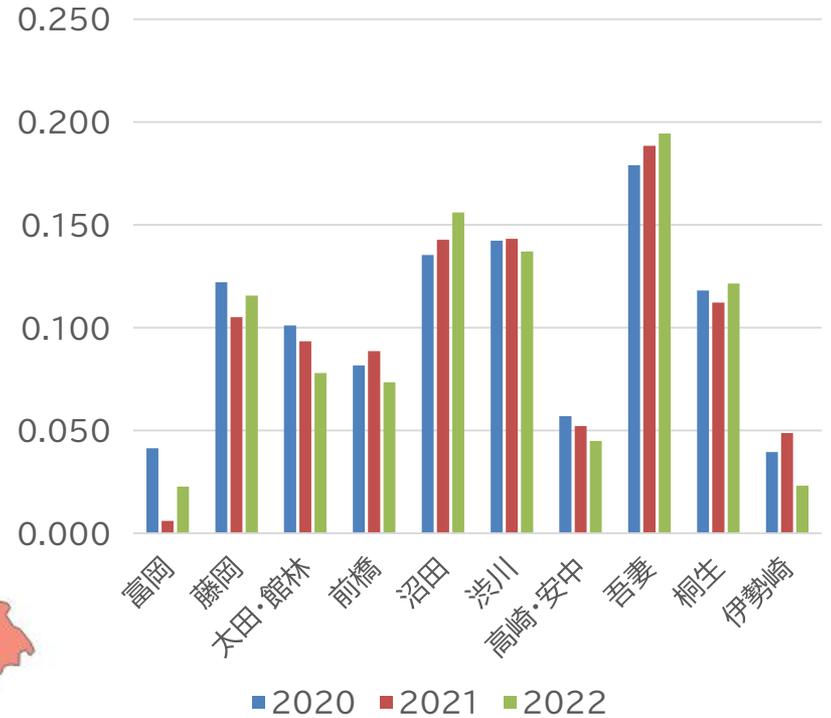
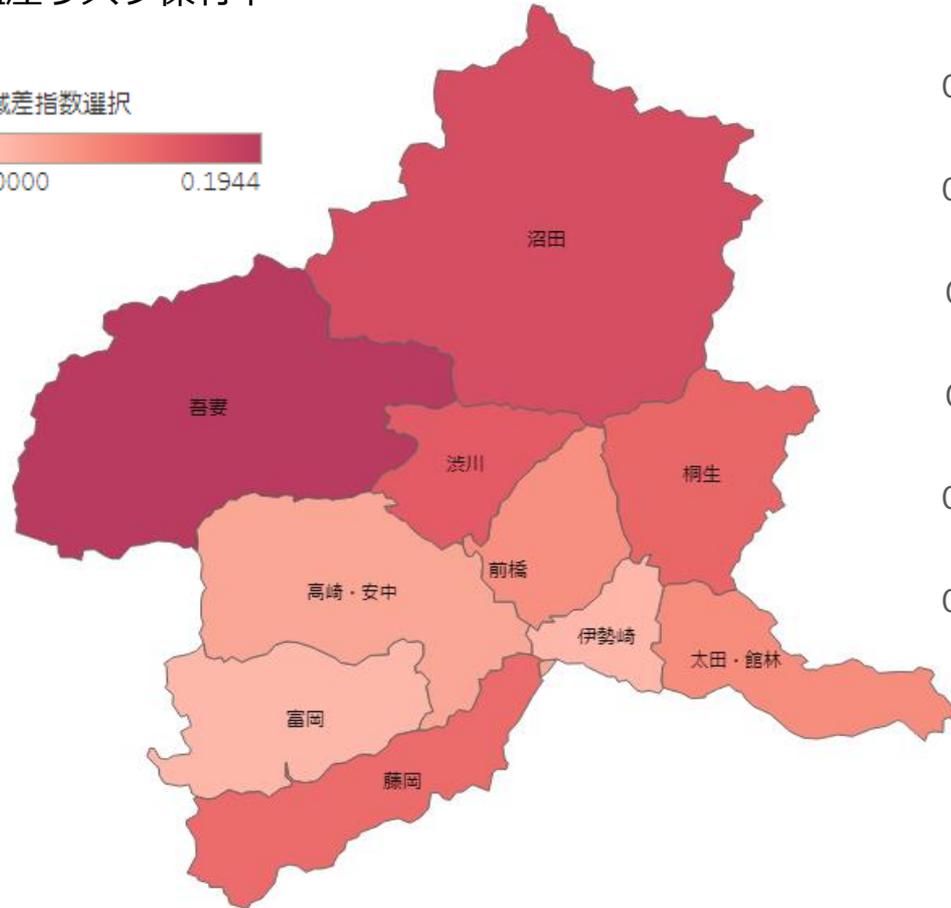
年度	運動習慣改善要素保有者の割合		食事習慣改善要素保有者の割合		飲酒習慣改善要素保有者の割合		睡眠で休養が取れていない者の割合	
	地域差指数-1	地域差指数-1	地域差指数-1	地域差指数-1	地域差指数-1	地域差指数-1	地域差指数-1	地域差指数-1
2020	89.0%	-0.014	67.6%	-0.027	28.2%	-0.028	34.0%	-0.061
2021	88.7%	-0.013	67.7%	-0.025	27.7%	-0.020	34.3%	-0.056
2022	88.4%	-0.012	67.7%	-0.026	27.5%	-0.023	35.1%	-0.059

健診結果及び問診結果の地域差指数-1



二次医療圏別・市区町村別地域差 (2022) 血圧リスク保有率

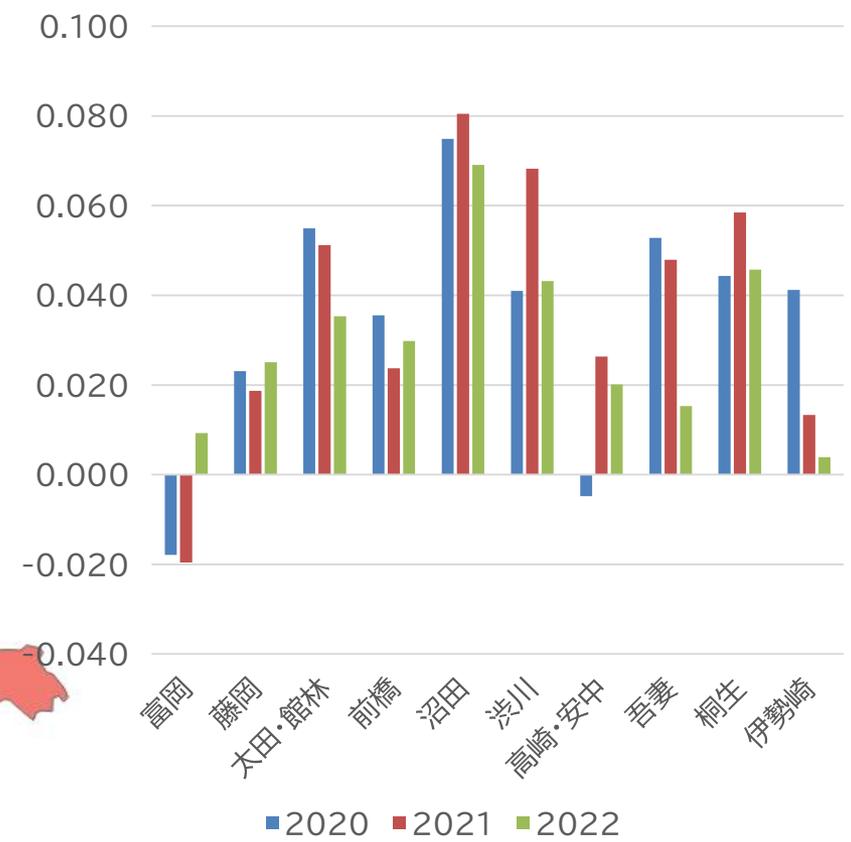
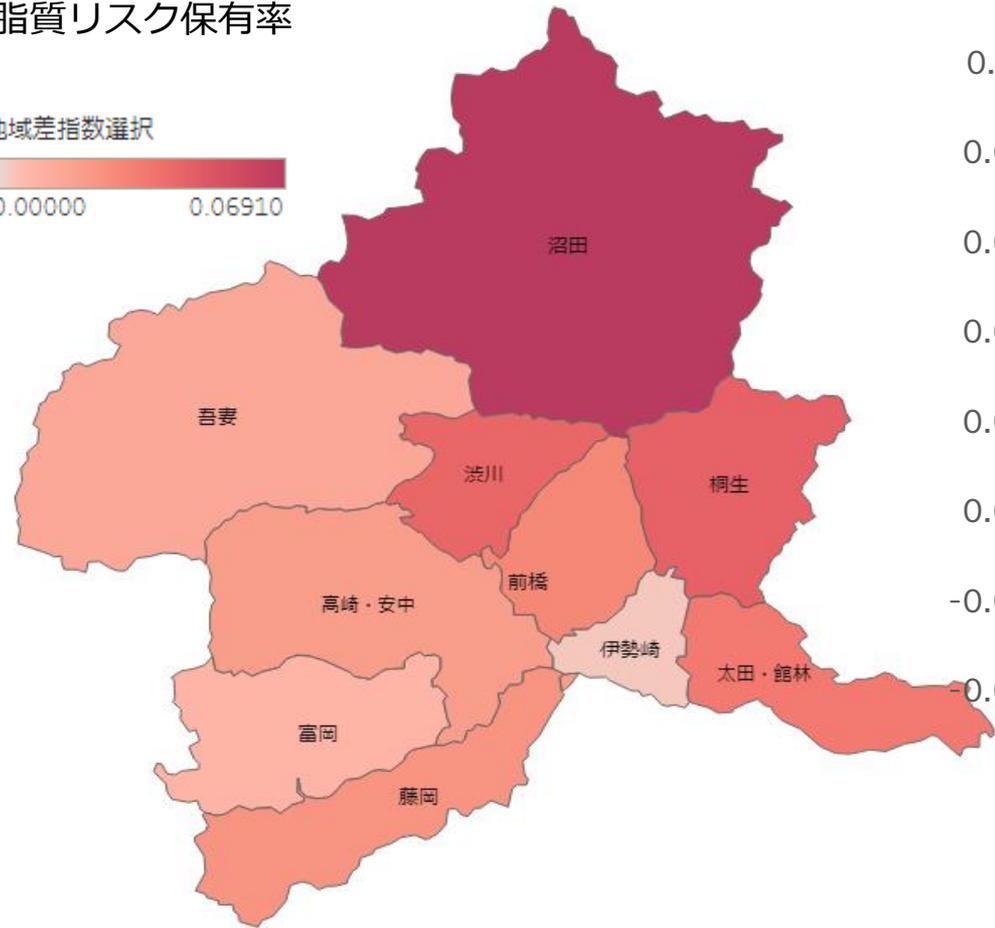
地域差指数選択



地域差指数	富岡	藤岡	太田・館林	前橋	沼田	渋川	高崎・安中	吾妻	桐生	伊勢崎
2020	0.041	0.122	0.101	0.082	0.135	0.142	0.057	0.179	0.118	0.040
2021	0.006	0.105	0.093	0.089	0.143	0.143	0.052	0.188	0.112	0.049
2022	0.023	0.116	0.078	0.074	0.156	0.137	0.045	0.194	0.121	0.023

二次医療圏別・市区町村別地域差（2022） 脂質リスク保有率

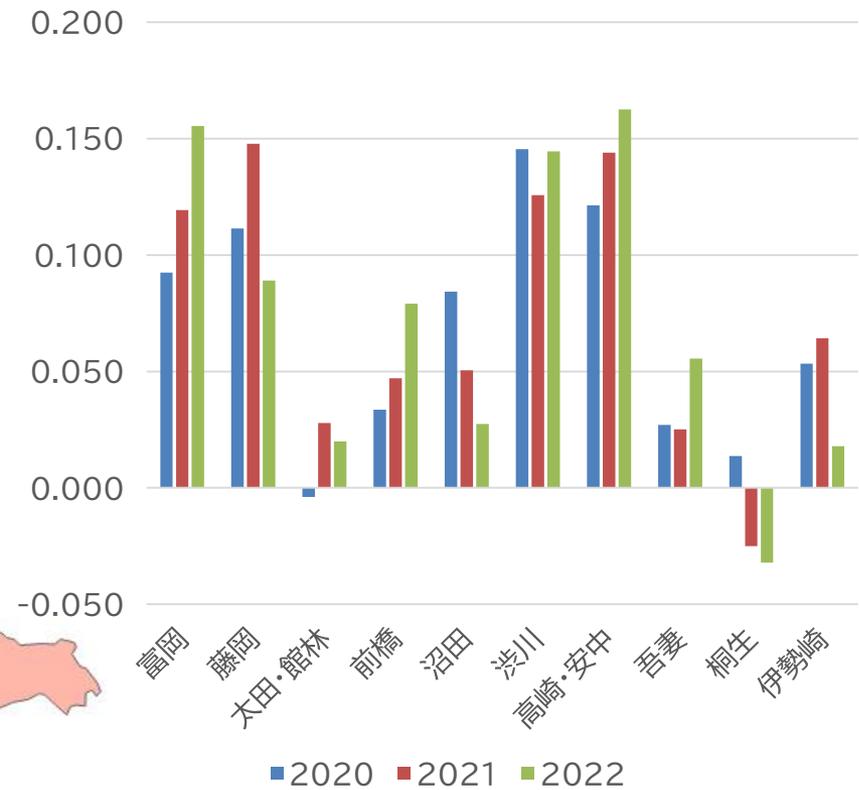
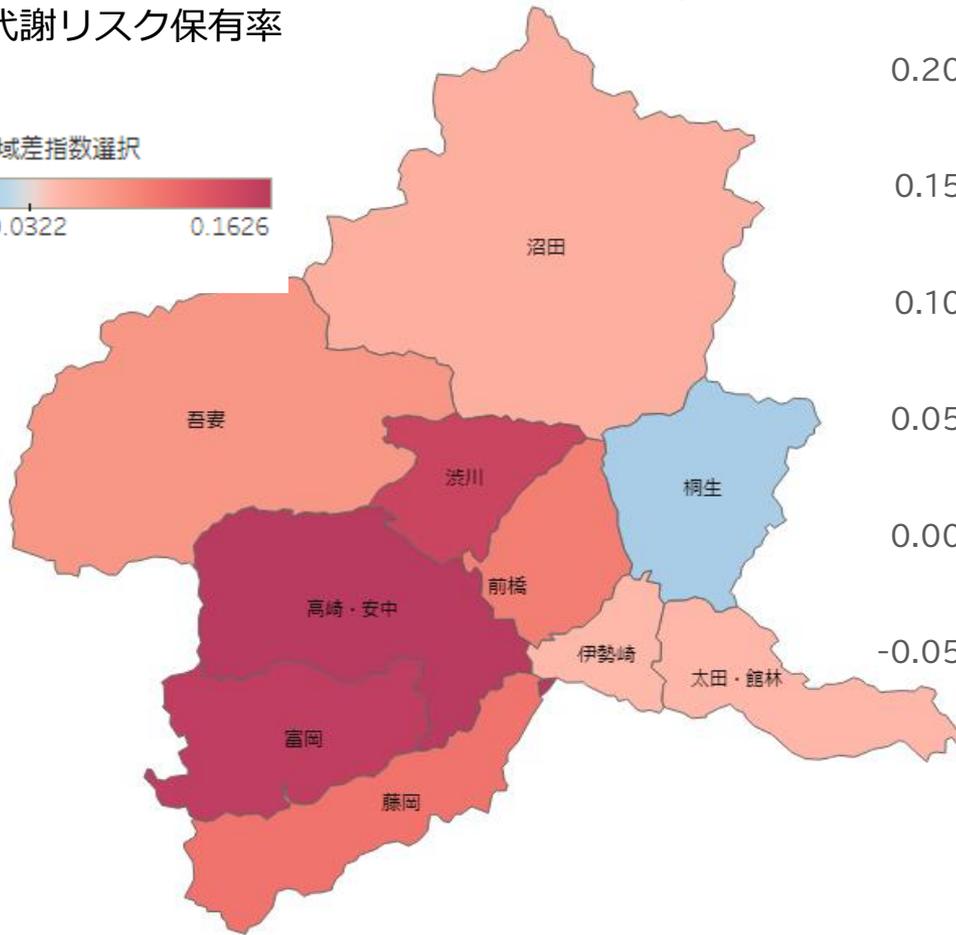
地域差指数選択



地域差指数	富岡	藤岡	太田・館林	前橋	沼田	渋川	高崎・安中	吾妻	桐生	伊勢崎
2020	-0.018	0.023	0.055	0.036	0.075	0.041	-0.005	0.053	0.044	0.041
2021	-0.020	0.019	0.051	0.024	0.081	0.068	0.026	0.048	0.058	0.013
2022	0.009	0.025	0.035	0.030	0.069	0.043	0.020	0.015	0.046	0.004

二次医療圏別・市区町村別地域差 (2022) 代謝リスク保有率

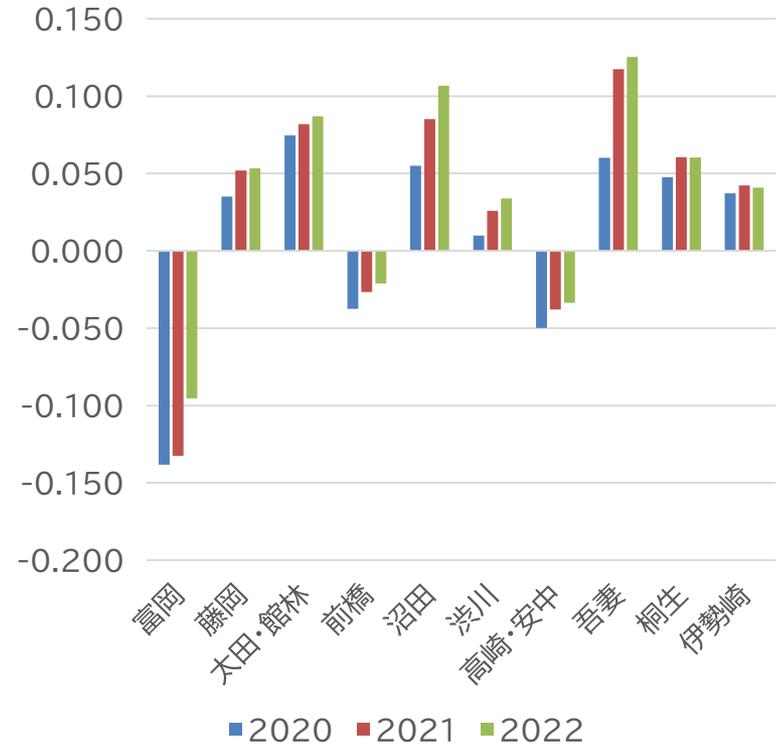
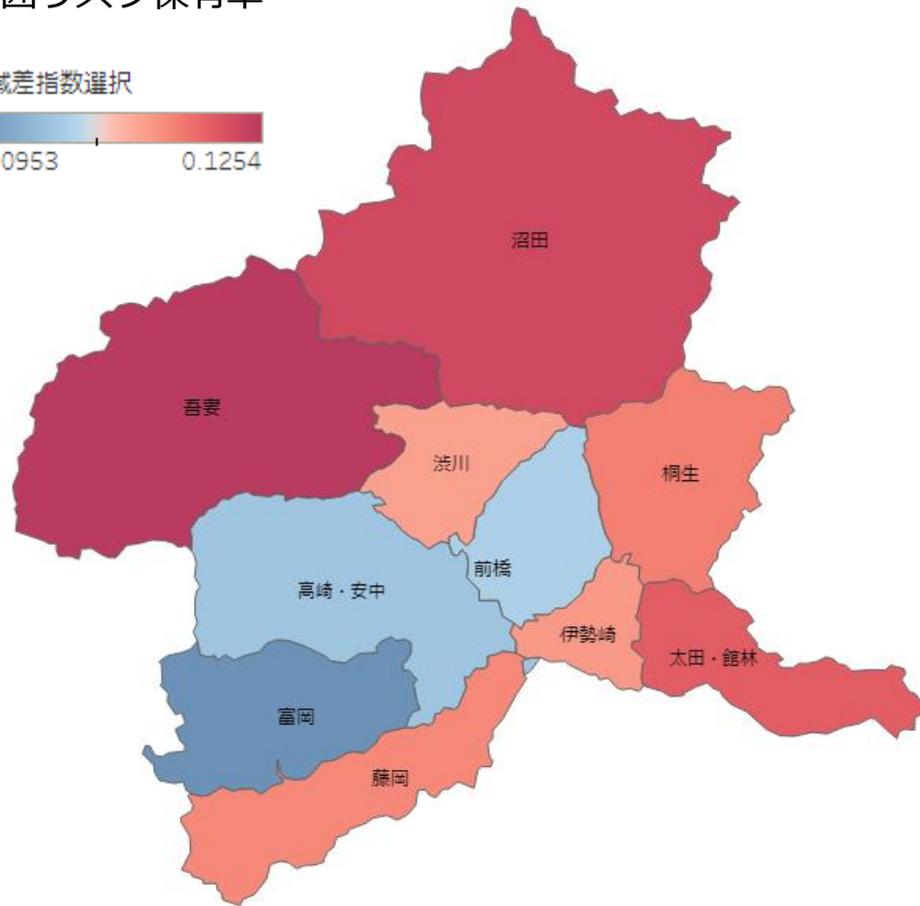
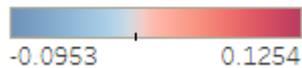
地域差指数選択



地域差指数	富岡	藤岡	太田・館林	前橋	沼田	渋川	高崎・安中	吾妻	桐生	伊勢崎
2020	0.093	0.111	-0.004	0.034	0.084	0.146	0.121	0.027	0.014	0.053
2021	0.119	0.148	0.028	0.047	0.051	0.126	0.144	0.025	-0.025	0.064
2022	0.155	0.089	0.020	0.079	0.027	0.145	0.163	0.055	-0.032	0.018

二次医療圏別・市区町村別地域差（2022） 腹囲リスク保有率

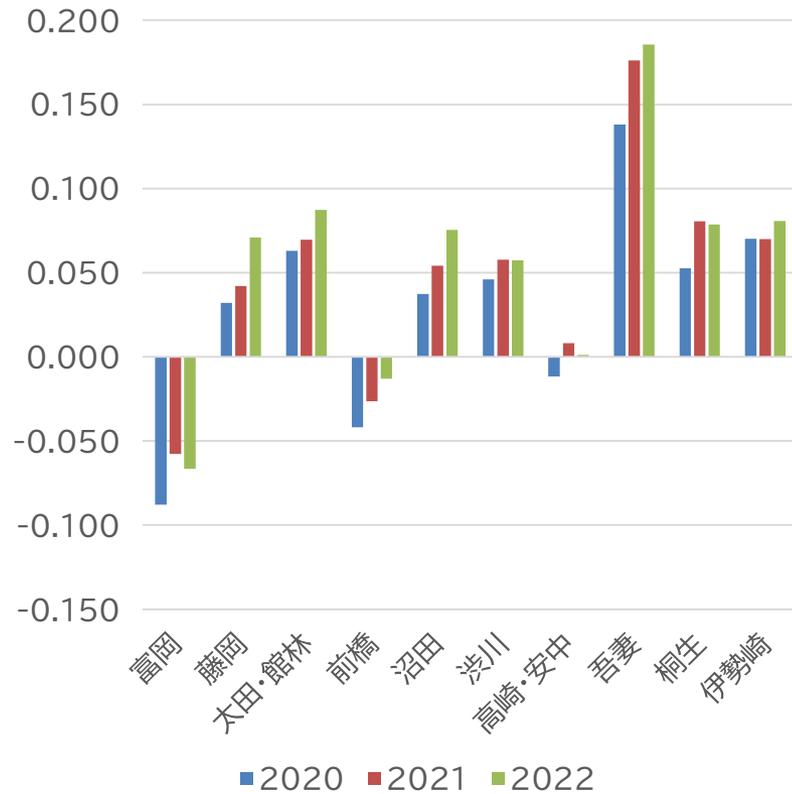
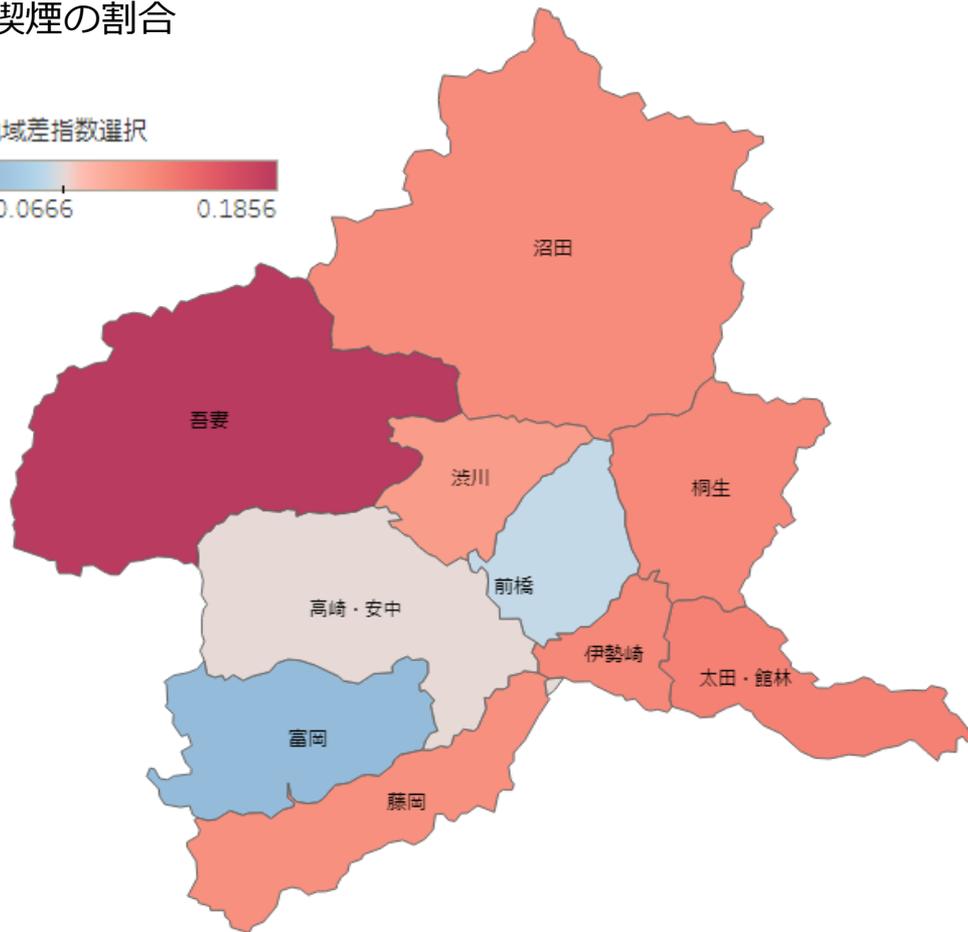
地域差指数選択



地域差指数	富岡	藤岡	太田・館林	前橋	沼田	渋川	高崎・安中	吾妻	桐生	伊勢崎
2020	-0.138	0.035	0.075	-0.037	0.055	0.010	-0.050	0.060	0.048	0.037
2021	-0.132	0.052	0.082	-0.027	0.085	0.026	-0.038	0.117	0.060	0.042
2022	-0.095	0.053	0.087	-0.021	0.107	0.034	-0.034	0.125	0.060	0.041

二次医療圏別・市区町村別地域差（2022） 喫煙の割合

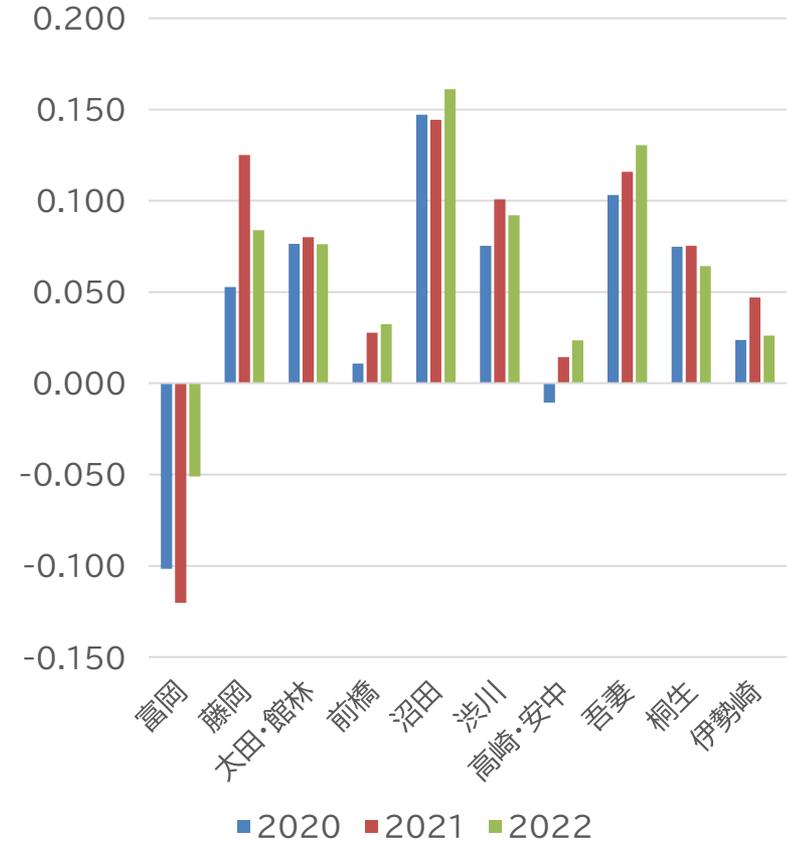
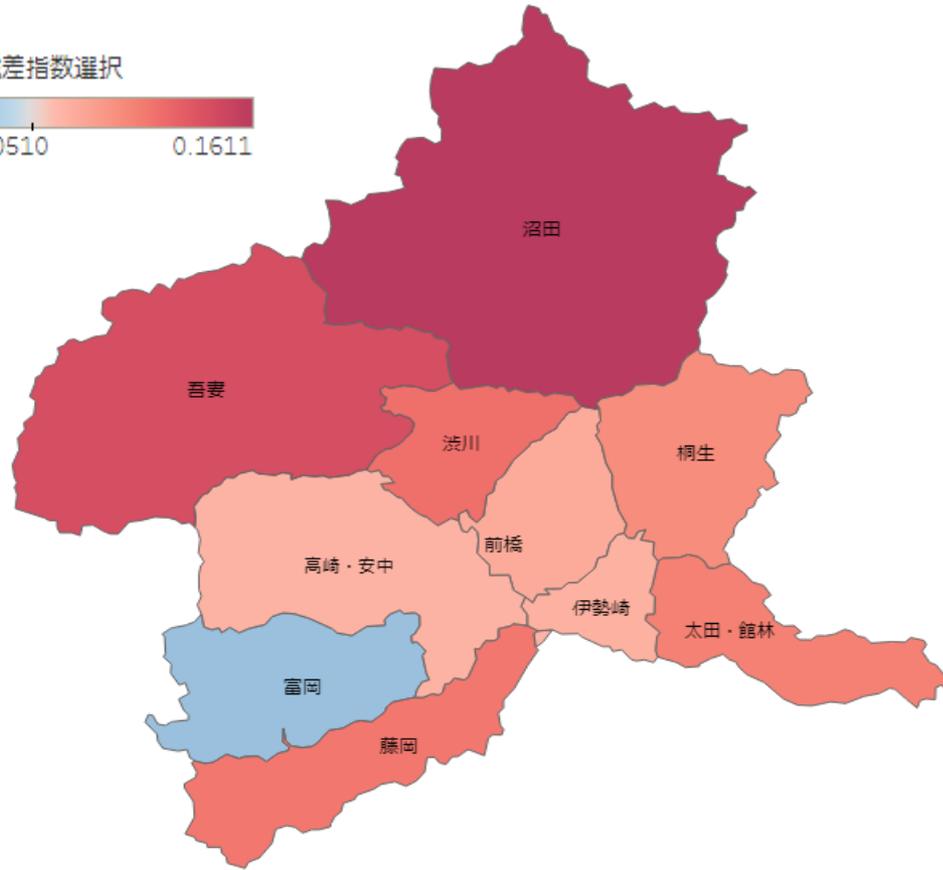
地域差指数選択



地域差指数	富岡	藤岡	太田・館林	前橋	沼田	渋川	高崎・安中	吾妻	桐生	伊勢崎
2020	-0.088	0.032	0.063	-0.042	0.037	0.046	-0.012	0.138	0.053	0.070
2021	-0.058	0.042	0.070	-0.026	0.054	0.058	0.008	0.176	0.081	0.070
2022	-0.067	0.071	0.087	-0.013	0.076	0.057	0.001	0.186	0.079	0.081

二次医療圏別・市区町村別地域差（2022） メタボリックシンドロームリスク保有率

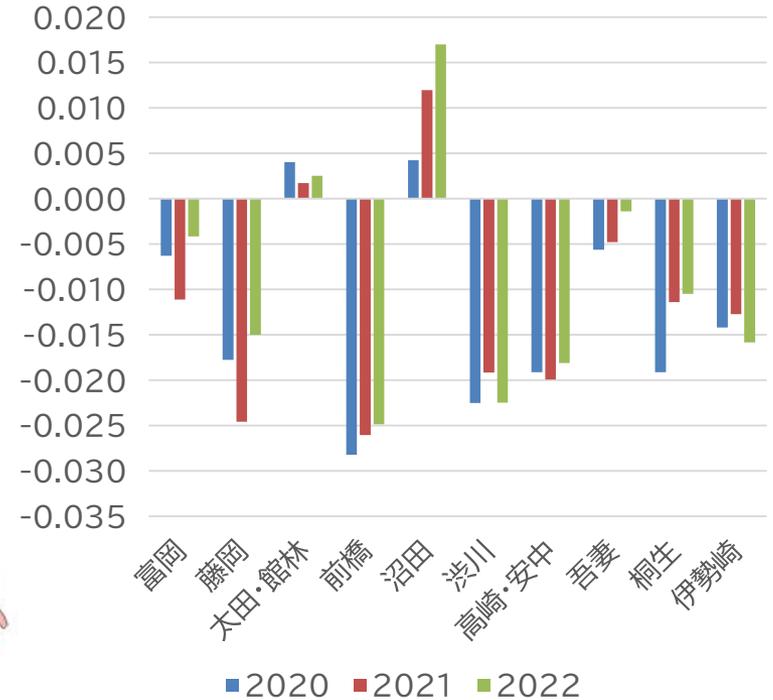
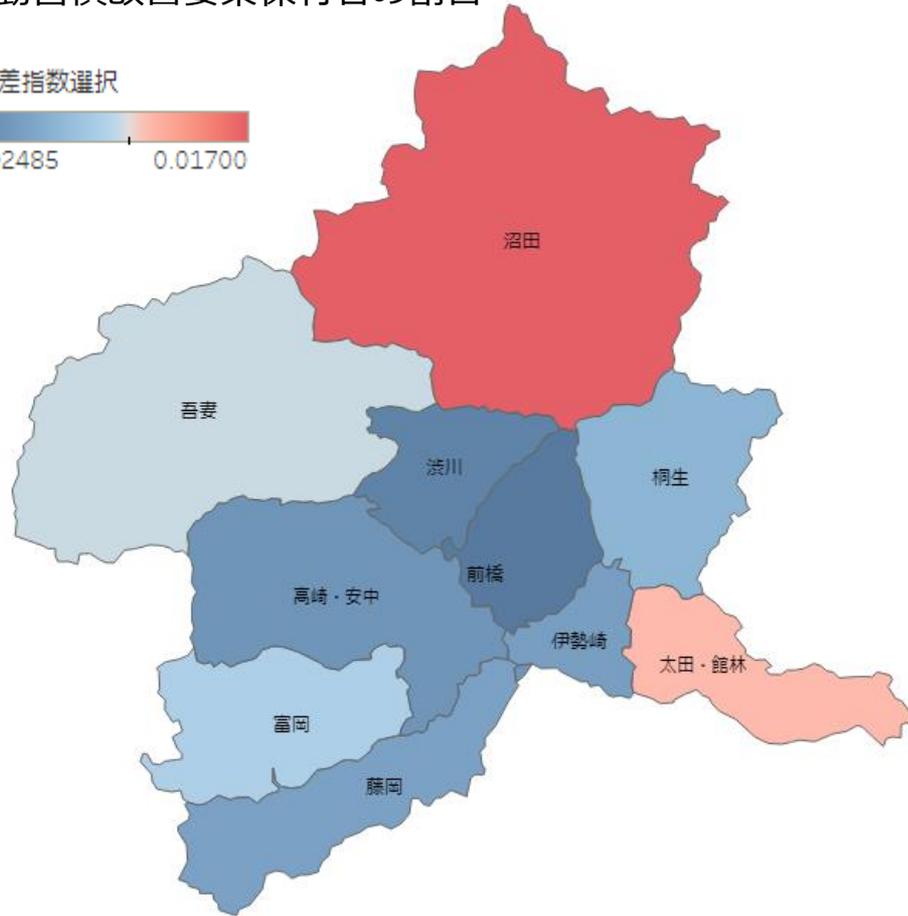
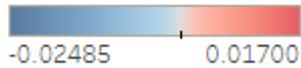
地域差指数選択



地域差指数	富岡	藤岡	太田・館林	前橋	沼田	渋川	高崎・安中	吾妻	桐生	伊勢崎
2020	-0.102	0.053	0.076	0.011	0.147	0.075	-0.010	0.103	0.075	0.024
2021	-0.120	0.125	0.080	0.028	0.144	0.101	0.014	0.116	0.075	0.047
2022	-0.051	0.084	0.076	0.032	0.161	0.092	0.023	0.131	0.064	0.026

二次医療圏別・市区町村別地域差（2022） 運動習慣改善要素保有者の割合

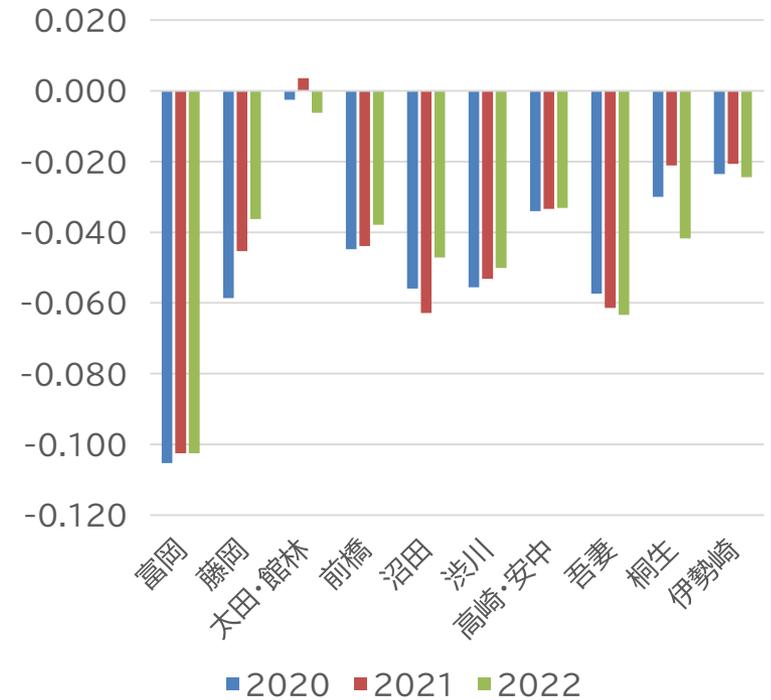
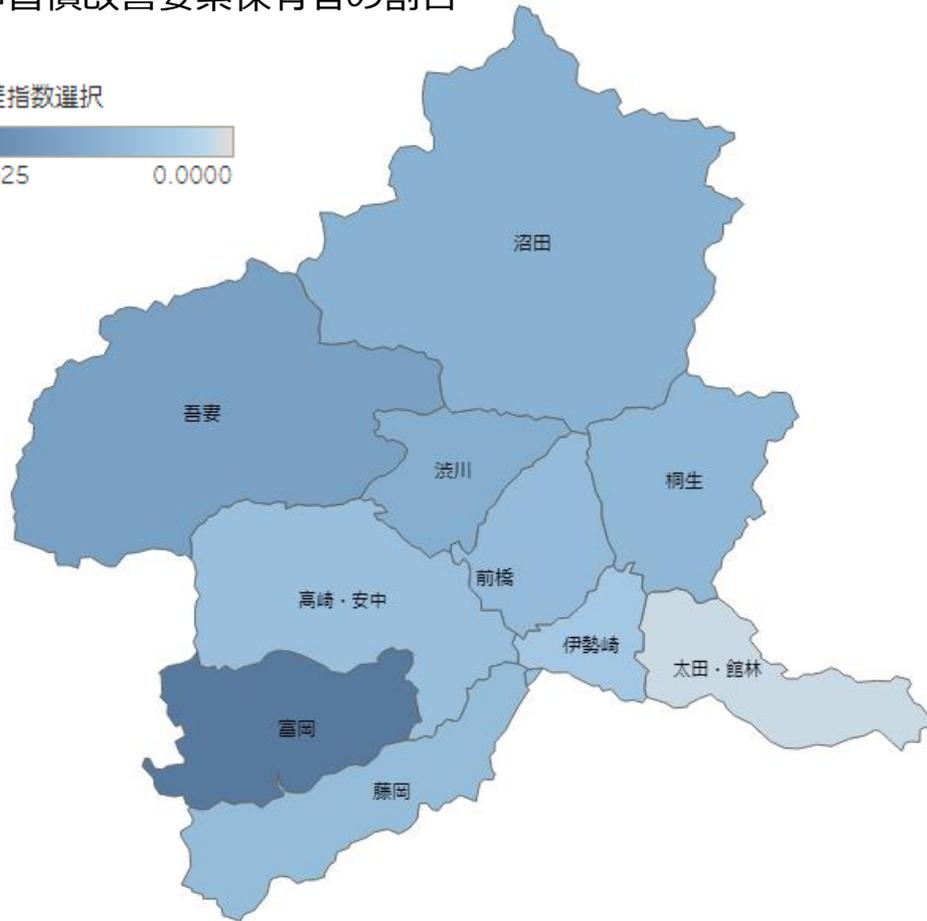
地域差指数選択



地域差指数	富岡	藤岡	太田・館林	前橋	沼田	渋川	高崎・安中	吾妻	桐生	伊勢崎
2020	-0.006	-0.018	0.004	-0.028	0.004	-0.023	-0.019	-0.006	-0.019	-0.014
2021	-0.011	-0.025	0.002	-0.026	0.012	-0.019	-0.020	-0.005	-0.011	-0.013
2022	-0.004	-0.015	0.003	-0.025	0.017	-0.022	-0.018	-0.001	-0.010	-0.016

二次医療圏別・市区町村別地域差（2022） 食事習慣改善要素保有者の割合

地域差指数選択



地域差指数	富岡	藤岡	太田・館林	前橋	沼田	渋川	高崎・安中	吾妻	桐生	伊勢崎
2020	-0.105	-0.059	-0.002	-0.045	-0.056	-0.056	-0.034	-0.057	-0.030	-0.023
2021	-0.103	-0.045	0.004	-0.044	-0.063	-0.053	-0.033	-0.061	-0.021	-0.021
2022	-0.102	-0.036	-0.006	-0.038	-0.047	-0.050	-0.033	-0.063	-0.042	-0.024

●集計対象データは、群馬支部の加入者で、居住地が群馬県で抽出。

●健診結果および問診結果の基準

① 血圧リスク保有率	収縮期血圧130mmHg以上、または拡張期血圧85mmHg以上、または高血圧に対する薬剤治療ありの者の割合	⑦ 運動習慣改善要素保有者の割合	以下の質問に、2問以上「いいえ」と回答した者の割合
② 脂質リスク保有率	中性脂肪150mg/dl以上、またはHDLコレステロール40mg/dl未満、または脂質異常症に対する薬剤治療ありの者の割合		1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上1年以上実施している
③ 代謝リスク保有率	空腹時血糖 110mg/dl 以上（ただし空腹時血糖の検査がない場合は、HbA1c 6.0 以上）、または糖尿病に対する薬剤 治療ありの者の割合		日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施
④ 腹囲リスク保有率	内臓脂肪面積が100 cm ² 以上の者（ただし内臓脂肪面積の検査値がない場合は、腹囲が男性で85cm以上、女性で90cm以上の者）の割合	⑧ 食事習慣改善要素保有者の割合	ほぼ同じ年齢の同性と比較して歩く速度が速い
⑤ 喫煙の割合	問診票において、喫煙者であると回答した者の割合		以下の質問のうち、2項目以上に該当する者の割合
⑥ メタボリックシンドロームリスク保有率	④かつ①～③のうち2項目以上に該当する者の割合		人と比較して食べる速度が速いに「速い」と回答
			就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上あるに「はい」と回答
			朝食を抜くことが週に3回以上あるに「はい」と回答
			朝昼夕の3食以外に間食や甘い飲み物を摂取していますかに「毎日」「時々」と回答

【報告事項】 令和5年度の複合的な広報の実施について

令和5年度の複合的な広報の実施について

1.実施目的

- 群馬支部の課題は、「血圧リスク保有率の高いこと」、「インセンティブ制度の認知度が低いこと（特に評価項目の一つである特定保健指導の実施率の低いこと）」である。
- これらの課題への対策を群馬支部における令和5年度の重点事業として位置づけ、啓発と行動変容を促すことを目的に複合的な広報を実施する。

2.実施事項

ポイント① 統一感のある広報

- 令和4年度に分析した支部課題（血圧リスク保有率が高いこと及びインセンティブ制度の認知度が低いこと）について、加入者への周知を図るとともに、より効果的な広報により、加入者の行動変容に結び付けるために共通のコンセプト（世界観、登場人物、演出、音楽、ストーリー等）で様々な媒体を連動させた統一感のある広報を行い、健康づくりの啓発を行う。

ポイント② ターゲットに合わせた広報

- 広報媒体は、WEB広告とラジオを必須とする。
（必須の理由としては、本事業を実施するにあたり、事前に複数の専門業者と意見交換をしたところ、WEB広告はターゲットを絞って配信ができ効果測定ができること、ラジオは群馬県において車の利用が多いため、ラジオを聞く機会が多いということから、効果的な広報媒体として必須媒体としている。）
- その他の広報媒体は特に問わず、限度額の範囲内で複数の広報媒体を組み合わせるなどして効果的な広報の企画立案を専門業者より提案してもらう。

3.実施スケジュール

- 広報期間は令和5年10月頃～令和6年3月の予定

参考①

インセンティブ制度に係る令和3年度実績について（群馬支部）

健康保険料率は都道府県単位で決定しており、保険料率の違いは、都道府県ごとの加入者様1人当たりの医療費の違いによるもの。都道府県の医療費が下がれば、その分、保険料率も下がることになる。

平成30年度から導入された**インセンティブ制度**により、加入者及び事業主の皆様の健康づくりに関する取り組みにインセンティブが付与され、保険料率の引き下げにつながる。

5つの評価指標

	項目	順位
1	特定健診等の実施率	34位
2	特定保健指導の実施率	42位
3	特定保健指導対象者の減少率	42位
4	医療機関への受診勧奨を受けた要治療者の 医療機関受診率	29位
5	後発医薬品の使用割合	7位



令和3年度
群馬支部
45位

令和3年度実績では、群馬支部は残念ながらインセンティブを得ることはできなかった。（令和3年度実績は、上位23支部にインセンティブが付与され、令和5年度保険料に反映される。）

令和4年度実績からは上位15支部がインセンティブの対象となる。

参考②

広報展開の全体イメージ

- ・ ラジオドラマを中心に、ターゲットや訴求内容に応じた各種媒体を活用
- ・ 情報への接点を増やし、異なる関心層へ多角的なアプローチをおこなう

ラジオ番組

ラジオドラマとインフォーマーシャルPR を含んだラジオ番組を展開

特設サイト・WEB広告

各情報をまとめて閲覧できる特設サイトの制作と、特設サイトに誘導するためのWEB広告を実施

ポスター・リーフレット

各加入事業所や被保険加入者において、目に留まり手に取って情報を得られるよう、ポスターとリーフレットを制作

ビジュアルイメージ (案)

協会けんぽ会員のみなさまへ

群馬のみんなを!
ポポッと健康に

あなたの健康をサポートします!

健康保険料がお得になる!
インセンティブ制度

特定健診等 特定健診指導 メタボ改善 医療機関受診 ジェネリック医薬品

放っておくとケン!?
血圧リスク

群馬県は
血圧リスク保有率が高い!
重症化を防ぐために健診を

FM GUNMA (HAIWA) GreenJにて
ラジオドラマ「ポポッとけんぽ」

ポポッとけんぽ

毎週 9:55 から
好評放送中!

協会けんぽ
会員の
みなさまへ

ポポッと
健康通信

あなたの健康を
サポートします

健康を支える医療保険制度「健保」、
生活習慣の改善について、
一緒に考えたいと思います。

1 健康保険料がお得になる!?
インセンティブ制度

2 放っておくとケン!?
血圧リスク

毎週 9:55 から
好評放送中!

インセンティブ制度について

インセンティブ制度の指標

特定健診等の受診

特定等健診の実施

メタボリスクを減らす

ジェネリック医薬品の使用

血圧リスクについて

血圧測定

収縮血圧 (mmHg)	180	160	140	130	110	90
拡張血圧 (mmHg)	110	90	80	80	80	80
分類	超高度血圧	高度血圧	正常高値血圧	正常血圧	低血圧	低血圧